

カプセル内視鏡を導入しました

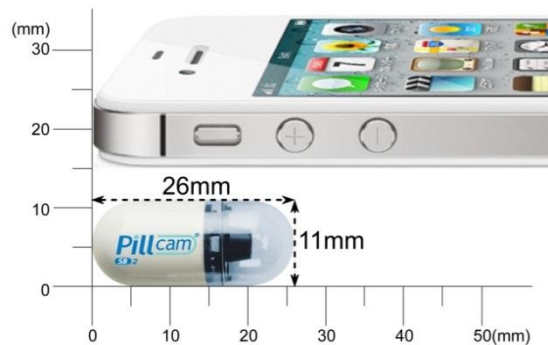
～カプセルを飲み込むだけの負担の少ない検査です～

当センターでは低侵襲検査の一環として新しく**カプセル内視鏡**を導入しました。主に小腸の病気を診断する目的で使用します。この検査では、カプセル内視鏡を薬と同様に服用して頂ければ、あとは光源とデジタルカメラを内蔵したカプセルが消化管を移動しながら小腸粘膜を撮影します。

撮影された画像は、自動的に装着ベルトにセットされた受信装置（レコーダー）に保存されます。検査開始直後は飲食できませんが、2時間後からは飲水、4時間後からは食事が可能となります。検査中は基本的に自由行動ができ、どこへ行っても構いません。カプセル内服後約8時間で装着したレコーダーをはずして検査は終了となります。

今までの小腸検査と違いバリウムの苦痛も無く、長い内視鏡を挿入することも無く病気の診断が可能で、麻酔も使いません。また、腸を膨らませることもありません。何といたってこの検査法の大きな特徴であり、かつ一番のメリットは検査中に動き回ることができることです。カプセル内視鏡検査については、お気軽に**消化器科医師**にご相談ください。

文責：消化器センター長 山田 正美



ふれあい



当院の人工呼吸器サポートチームが、平成23年度浜松市医療奨励賞を受賞されました。

目次

- ◆カプセル内視鏡を導入しました
- ◆人命救助から感じたこと
- ◆市民公開講座「よくわかる！ すい臓病」
- ◆こちら、総合相談支援室 ～パート③～
- ◆患者図書室「さなるの泉」のご案内

～ 自由にお持ちください ～

看護師募集中

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

浜松医療センター

検索

〒432-8580 浜松市中区富塚町3-2-8

TEL 053 (453) 7111

: FAX 053 (452) 9217

URL <http://www.hmedc.or.jp>

: E-Mail kikaku@hmedc.or.jp

発行：浜松医療センター

人命救助から感じたこと



平成23年11月、東京都内の電車内で倒れている女性と遭遇しました。女性の異変に気づき、駆け寄った時には意識、呼吸はなく、脈もはっきり触れない状態でした。院内研修でBLS（Basic Life Support: 一時救命処置）訓練を受けていたので、訓練の内容を思い出しながら、患者の観察、周囲への協力依頼、BLSの実施を行いました。その後、呼吸と脈が戻り、病院搬送後には意識が戻ったとの連絡があり、安堵しました。多くの方がBLS訓練を受け、いざという時に実践できることが大切であると思いました。

3号館6階病棟看護長 杉山 由香

第16回市民公開講座 「よくわかる！ すい臓病」

<日時> 平成24年5月26日(土) 14時～16時30分

<会場> アクトシティ浜松コンgresセンター31会議室

<定員> 380人（直接会場にお越しください）

入場無料

<主催> 浜松医療センター

<共催> 浜松市

<後援> 浜松医師会、浜松市歯科医師会
浜松市薬剤師会

<内容> 今回の市民公開講座は「すい臓病」をテーマとしています。すい臓病の実態と治療の重要性を啓蒙し、予防方法や最新の治療法を含めて分かりやすく解説します。

<問い合わせ先> 企画広報係 TEL053-453-7111
どなたもお気軽にご参加ください。



こちら、総合相談支援室！！～パート3～

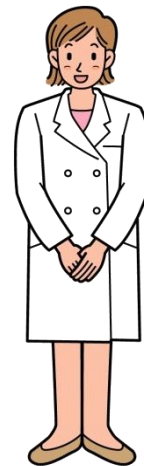
Q.外来で医療費が高額にかかります。負担を軽減する方法はありますか？

A. 「**高額療養費貸付制度**」を利用できる可能性があります。同じ月に同じ医療機関で医療費が一定の金額を超えた場合、高額療養費として支払った医療費の払い戻しを受ける事ができます。しかし、一旦の立て替え払いが困難な場合、高額療養費支給額の10～8割を無利子で貸し付けてもらう事ができます。ただし、保険料に未納がある場合は利用できません。

Q.手続きの方法は？

A. 加入されている保険者によって申請が異なりますので、各保険者にお問い合わせください。浜松市国民健康保険加入の方は**総合相談支援室**にて申請書類をお渡ししています。

詳しくは総合相談支援室にお尋ねください。



1号館2階 患者図書室「さなるの泉」のご案内

この図書室は、患者さんご自身が病気や治療法などについて学び、調べ、理解を深めるためのお手伝いをする場所です。700冊の医療関連図書をはじめ、映像、インターネットで情報を提供しています。

利用時間は**9:00～16:00**（月～金曜日）となります。
どうぞご自由にご利用ください。

